

I 会議等

1 定期総会の開催

(1) 総会

- ア 日程 4月23日(火)
イ 場所 豊岡稽古堂 3階 交流室3-1
ウ 出席会員数 32社(全会員数 61社・1団体)
エ 議事内容
平成30年度事業報告・収支決算、役員の選任について、
平成31年度事業計画・収支予算

(2) 特別講演

- ア 内容
①演題 『『小さな世界都市』を目指す豊岡と『グローバル企業』を目指すカネカ』
②講師 株式会社カネカ エグゼクティブ・フェロー 永野 広作氏
イ 参加者数 113人
ウ 参加者の声
①大きな目標を掲げ、チャレンジする精神を学んだ。自社でも世界に目を向けたチャレンジが必要と感じた。
②豊岡市の中に大変大きな工場を有し、グローバルに展開していることに驚いた。工場見学の機会があれば参加したいと思う。

(3) 懇親会

- 参加者数 67人

2 役員会の開催

- 日程 第1回 5月27日(月)、第2回 7月 8日(月)、
第3回 9月 9日(月)、第4回 12月 9日(月)、
第5回 2月18日(火)、第6回 3月23日(月)

II 情報提供・情報発信事業

1 工業会ホームページによる情報発信

工業会の活動のPR、会員拡大および会員のWebページへのリンク等による受注機会拡大を目的に、豊岡市工業会ホームページの運営・管理を行った。

2 各種補助金制度、各種セミナー、各種産業フェア等の情報提供

- (1) 国・県等の各種補助金制度を集約し、適宜、会員にメール等で周知した。

2019/ 4/22	兵庫県 中小企業IoT・AI・ロボット導入補助金 公募
2019/ 5/ 8	豊岡市 ステップアップ支援補助金、創業支援事業補助金 公募
2019/ 5/29	兵庫県 ロボット実用化・普及促進補助金 公募

2019/ 8/21	経産省 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（二次公募）
2020/ 1/17	（事前情報）経産省 ものづくり補助金・IT導入補助金・サポイン事業
2020/ 2/27	兵庫県 最先端技術研究事業（COEプログラム）公募
2020/ 3/12	R1 補正 ものづくり補助金＜一般型＞、小規模事業者持続化補助金＜一般型＞IT導入補助金＜臨時＞ほか

（２）他の団体や機関等が実施する各種経営セミナーや産業フェア等を適宜、会員にメール等で周知した。

2019/ 4/22	熱処理協会『熱処理技術者のための基礎講習会』（5/17、5/24）	大阪市
2019/ 5/13	熱処理協会『熱処理中堅技術者講習会』（7/31、10/4、12/5）	大阪市
2019/ 5/31	夢但馬産業フェア（9/20-21）	豊岡市
2019/ 6/12	県立大 金属新素材研究センター開設記念式典・セミナー（7/5）	姫路市
2019/ 6/12	全国健保協会『健康経営優良法人セミナー』（8/1）	豊岡市
2019/ 6/20	豊岡市 ISO9001・ISO14001 認証取得支援講座	豊岡市
2019/ 7/26	豊岡市『女性活躍地域セミナーin但馬』	豊岡市
2019/ 8/21	但馬技大『汎用旋盤加工実習基礎コース』（10/9-11/13）	豊岡市
2019/ 9/13	豊岡商工会議所『省エネと働く環境改善セミナー』（9/20）	豊岡市
2019/ 9/30	（会員企業等）『災害対策 BCP と社員満足度持続経営セミナー』（10/3）	豊岡市
2019/11/13	豊岡市『めっき技術の基礎と応用』（12/17）	豊岡市
2020/ 1/17	靴協会『ブランディング・地方創生研修セミナー』（2/10）	豊岡市
2020/ 1/23	但馬技大・豊岡市ほか 技術セミナーin但馬『地域産業の未来につながるAI×IoT×ロボットの可能性』（3/4）	豊岡市
2020/ 1/31	熱処理技術協会『輸送・産業機器部品の特性を高める熱処理技術とその展望』（2/10）	大阪市

3 工業会活動周知イベント『おっとりしゃ！とよおかのものづくりVI』の開催

子供たちにもものづくりの楽しさを知ってもらおうとともに、市民、一般企業へ向けて工業会の活動を紹介し、市内企業への理解を促し、地元の優秀な人材の確保につなげるため、イベントを開催した。また、若手社員の交流を深めるため、同イベントに参加の会員企業社員を対象に、ミニセミナーならびに交流会を開催した。

（１）日 程 8月4日（日）～5日（月）

（２）場 所 豊岡稽古堂 ほか

（３）内 容

【子ども向け ものづくり体験】

会員企業の製品・技術を活用した小学生向けのものづくり体験

ア 開催日 8月4日（日）

イ 体験内容

- ①木材を使った木箱とラック作り（（株）川嶋建設）
- ②ミニ畳作り（（株）植村畳）
- ③金属製 アニマル貯金箱作り（大豊機工（株））
- ④マフラータオルオリジナルプリント体験（（株）絆工房）
- ⑤オリジナルルアーキーホルダー作り（（株）脇漁具製作所）
- ⑥ミニチュアバッグ型キーホルダー・コインケース・レッスンバッグ作り
（（有）アイズ、（協力）兵庫県靴工業組合）

ウ 体験参加者数 延べ467名

【子ども向け おもしろ講座】

会員企業や協力団体の製品・技術を使った実験などの体験を通じて技術を学ぶ

ア 開催日 8月5日(月)

イ 講座内容

- ①『地球温暖化ってなに?自分で電気をつくって、ソーラーパネルと対決だ!』
(カネカソーラーテック(株))
- ②『土っておもしろい!プロに教えてもらおう!塗り壁体験。』
(株)キヅキ商会、(協力)NPO法人 但馬の匠を育てる会
- ③『コンピュータの中でねこが散歩するよ。スクラッチ(Scratch)を使った
簡単プログラミング体験。』((有)アルファ・プロンプト)
- ④『3Dプリンタってどんなもの?世界に1つ、オリジナルのキーホルダーを作ろう!』
(但馬技術大学校 兵庫ものづくり支援センター但馬、(協力)兵庫県立工業技術センター)

ウ 体験参加者数 延べ48名

【会員企業による事業紹介展示】

会員および関連団体によるブース展示、事業・製品の紹介

ア 開催日 8月4日(日)~5日(月)

イ 参加企業・団体

会員企業10社、豊岡市工業会、但馬技術大学校(エコカーも展示協力あり)
(全13ブース)

【特別展示 鉄道模型ジオラマ展示・運転操作体験】

企業展示の出展企業の製品や仕事を模型内に施した鉄道模型の展示を行った。また、あわせて鉄道模型の運転操作体験も実施した。(協力 但馬鉄道模型 CLUB)

ア 開催日 8月4日(日)~5日(月)

イ 展示・体験内容

- ①鉄道模型ジオラマ展示
ジオラマの中に企業展示に出展の会員企業の製品や仕事風景などを設置し、各企業が身近な製品を製造していることなどを紹介した。
- ②鉄道模型操作体験
企業展示の各ブースに掲示したクイズに回答し、運転操作のチケットを手に入れると鉄道模型の操作ができるようにし、こどもたちが楽しく企業を理解できるようにした。

【若手社員交流事業】

会員企業の若手社員を中心とした交流会を行った。(詳細後述)

(4) 来場者数 550名

(5) 参加者の声

【出展企業】

- ①地域の方に少しでも当社の事を知ってもらえればと思い、出展した。数百名は来場されたとのことなので、一定の成果はあったと思う。
- ②参加してくれた子供たちは最後まで意欲的に取り組んでくれた。割と感覚的な部分で、はじめて使う環境に抵抗なく操作していたのは感心した。

【来場者】

- ①無料で体験させてもらえるコーナーもあり、職人の技に触れさせていただきとても良い機会だった。ありがとうございました。
- ②市内の企業を子どもも大人も知ることができてよかった。
- ③毎年楽しみにしています。

4 夢但馬産業フェア出展

一般企業ならびに市民へ向けて、工業会の活動及び会員企業を紹介し、ビジネスマッチングにつなげるほか、市民、特に地元高校生へ向けて情報発信し、ものづくり企業への理解、認知度を向上させるため、会員企業とともに夢但馬産業フェアへ共同出展した。

- (1) 日 程 9月20日(金)～9月21日(土)
- (2) 場 所 豊岡市総合体育館
- (3) 内 容

会員企業15社と『豊岡市工業会ゾーン』として共同出展した。ゾーン内出展企業に対し、出展小間料の一部助成を行った。豊岡市工業会ブースでは、当会事業ならびに会員企業に関する紹介の展示ならびに企業情報の配付を行った。会員企業の取引拡大や、多くの来場のあった中高生や一般市民に対する認知の向上に努めた。

5 会員企業プレゼン大会の開催

自社の事業内容や取り組みについて紹介する機会を設け、会員企業やその他市内企業との交流及びマッチングのきっかけづくりとするため、会員企業プレゼン大会を行った。今回は新春交流会(後述)と併せて開催した。

- (1) 日 程 1月27日(月)
- (2) 会 場 豊岡稽古堂 3階 交流室3-1
- (3) 内 容 会員企業3社によるプレゼンテーション
(株)オフテクス、(株)キヅキ商会、(株)メガサス
- (4) 参加者数 102名(うち会員60名)
- (5) 参加者の声

- ① 今まであまり自社以外の内容を見たことが少なく、今回のプレゼン・講演など勉強になった。
- ② 豊岡市のものづくり企業の皆様の熱意を感じられるプレゼンテーションで勉強になった。ディスカッションの時間などを設けると、議論も面白くなるのではないか。
- ③ 会員の企業同士が、互いの事業や政策を共有できることはとても素晴らしい。

6 市役所庁舎内 企業・製品紹介

来庁者への豊岡市の工業製品および工業会活動の周知のため、豊岡市役所内に会員企業を表示した『ものづくりマップ』の掲示ならびに展示ケースでの会員企業の製品展示を行った。

- (1) 4月～1月 但馬ティエスケイ(株)、(株)オフテクス、(株)キヅキ商会、大豊機工(株)
- (2) 1月～3月 (株)北星社、但馬ティエスケイ(株)、(株)植村畳、(株)土居工作所

7 後援事業

- (1) 豊岡市ものづくりセミナー

豊岡市が主催するセミナーを後援し、会員企業への参加周知等を行なった。ただし、第2回については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、急遽開催中止となった。

- ア 第1回 12月17日(火)

『めっき技術の基礎と応用 ～種類・仕組みから新しい環境配慮型技術まで～』

(講演1)「ウェットプロセスによる金属膜形成『めっき』の基礎と研究紹介」

兵庫県立大学 大学院工学研究科 教授 八重真治氏

(講演2)「めっき皮膜の特性と工業製品への応用」

(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所

ものづくり支援センター 技術支援部 部長 園田 司氏

イ <開催中止>第2回 3月4日(水)※技術セミナーin但馬 共同開催

『地域産業の未来につながる AI×IoT×ロボットの可能性』

(基調講演)

「AI(人工知能)の基礎と最新動向」

兵庫県立大学 名誉教授/人工知能研究教育センター研究部長 松井伸之氏

(導入事例紹介)

「人手不足をどうする?~IoT 事始め」

日本精機宝石工業株式会社 代表取締役社長 仲川和志氏

「既存技術を使いこなす技術 ~多品種少量生産を少人数で24時間稼働~」

新化学工業株式会社 豊岡事業部 生産技術課 課長 松井良宏氏

(2) その他

但馬技術大学校が主催する汎用旋盤加工実習基礎コースや、兵庫県立大学が主催するシンポジウムなどを後援し、会員企業への周知等に協力した。

III 調査・事例研究事業

会員企業見学会の開催

会員企業への理解を深めるとともに、企業同士の交流およびビジネスマッチングのきっかけづくりとするため、会員企業見学会を開催した。

(1) 日程 9月6日(金)

(2) 見学先 株式会社 げんぶ堂、神織興業株式会社

(3) 参加者数 10社14名(+事務局3名)

(4) 参加者の声

・見学会を行う会社側の勉強にもなりました。

【(株)げんぶ堂の見学】

①製品が材料からできあがりまでの工程がVTRであらかじめ確認できたので、ラインが動いていなくてもわかりやすかった。

②長年存続する企業は生き残るために必ず何かしらの取り組みをされており、会社の歴史を拝聴してその理由が少し理解できた。工場での製造現場では、決して楽とは言えない労働環境でも職人の手作業によるこだわりを感じた。

【神織興業(株)の見学】

①まずは大きな工場内にある多種多様な設備の数に圧倒されました。その中でも印象的だったのが、5Sが行き届き、製造現場のお手本とも言える工場内でした。

②工場見学で、第一印象として工場内の整理整頓、安全に対する意識が高いと感じました。「品質は工場の生命」と掲げられていましたが細かい箇所まで安全標識、安全指示、チェックリストなど、徹底されていました。当社も見習う所ばかりです。

IV ものづくり支援事業

1 企業技術（現場改善）見学会の開催

他都市の先進企業を見学し、先端技術や経営戦略を学ぶとともに、自社の技術革新や現場改善等のきっかけづくりとするため、企業技術見学会を開催した。

(1) 日程 11月26日（火）～27日（水）＜1泊2日＞

(2) 視察先 安田工業(株)、プライミクス(株)、(株)神戸工業試験場
＜岡山県、兵庫県＞

(3) 参加者数 会員企業・顧問・事務局 計23名

(4) 参加者の声

- ①見学先はどこも参考になる点が多く、大変有意義だった。また、移動の車中や懇親会の場で会員の皆さんと親しく会話でき、この点に関してもとても良い機会だった。
- ②どの会社もとても大きな会社で充実した設備や環境の中、いかに社員のやる気を引き出すか様々な工夫をされており企業努力に繋がっていくと感じた。規模は小さいが、当社でもできることを取り入れ、製品やサービスの向上に繋げていきたい。

2 改善活動セミナーの開催

企業内での改善について学ぶため、(公社)兵庫工業会の協力・共催により、二期に分けてセミナーを開催した。

(1) 『改善活動セミナー』

ア 日程 8月27日（火）

イ 場所 豊岡商工会議所会議室

ウ 内容 「品質管理の基本を学ぶ 実務に活かせる『品質管理』基礎セミナー」

エ 講師 MT 経営工学研究所 松本 隆氏

オ 参加者数 20名

カ 参加者の声

- ①品質管理の基本が学べ、今後の仕事に活かしていきたいと思う。自身だけでなく、社内の研修発表で社員と共有していきたい。
- ②午後の眠たくなる時間帯だったが、時々考える時間、ゲームがあり楽しめた。もっと受講者が発表・発言する機会を増やすと親しみやすく学べるように思った。

(2) 『ものづくり研修』

ア 日程 10月8日（火）

イ 場所 豊岡商工会議所会議室

ウ 内容 「現場で使える品質管理ツール」

エ 講師 MT 経営工学研究所 松本 隆氏

オ 参加者数 6社8名

カ 参加者の声

- ①入社して間もなく、品質管理について考えることがなかったため、勉強になった。QC活動で活かしていきたい。
- ②実際にやってみることで、意見を出し合っ、会社でも役立ちそうだった。

キ その他 (公社)兵庫工業会との共催

3 実技講座の開催

より実践的な技能の取得を目指した『ものづくり実技講座』を開催し、就業中の社員の

技術・知識レベルの向上を図った。

- (1) 日 程 7月18日(木)～8月29日(木)(うち6日間)
- (2) 講 師 兵庫県立ものづくり大学校 非常勤講師 中尾美智也氏
- (3) 場 所 兵庫県立但馬技術大学校 パソコン実習室
- (4) 内 容 CAD製図初級コース(全6回)
- (5) 参加者数 4社6名
- (6) その他 兵庫県立但馬技術大学校(兵庫ものづくり支援センター但馬)との共催

4 定期総会 特別講演(再掲)

5 兵庫ものづくり支援センター但馬との協力

同センターが行った各種研修会に関する会員の周知について協力した。

2019/ 5/13	『3Dプリンタ活用のための基礎と実習』(5/28-29)
2019/ 5/30	『X線分析装置付走査型電子顕微鏡の基礎と実習』(6/25or26)
2019/ 7/26	『ものづくり基礎ゼミナール』(8/27、9/3、9/10、9/17)
2019/ 7/26	『3Dプリンタ活用のための基礎と実習』(8/28-29)
2019/ 9/13	『X線分析装置付走査型電子顕微鏡 機器利用研修会』(10/29or30)
2019/10/24	『3Dプリンタ活用のための基礎と実習』(11/26-27)
2020/ 1/ 8	『走査型電子顕微鏡体験会』(2/7)
2020/ 1/17	『3D-CAD および 3D プリンタ体験会』(2/19)

V 会員間交流事業

1 総会懇親会の開催(再掲)

2 新春交流会の開催

会員間相互の情報交換・交流の場とするとともに、企業経営の一助とするため、講演会を含めた新春交流会を開催した。今回は前掲の会員企業プレゼン大会と併せて開催した。

- (1) 日 程 1月27日(月)
- (2) 会 場 豊岡稽古堂 3階 交流室3-1
- (3) 内 容
 - ア 会長年頭挨拶
 - イ 特別講演
 - ①演題『ケーススタディ：当社におけるイノベティブマインドの創り方
～組織革新に必要なこととは?～』
 - ②講師 株式会社 ウチダシステムズ 代表取締役社長 岩田 正晴氏
 - ウ 会員企業プレゼン大会(再掲)
 - エ 新春懇親会
- (4) 参加者数 延べ116名(第一部102名、第二部(懇親会)88名)
- (5) 参加者の声(特別講演)
 - ①大切なのはトップが社員に対して見える形で示すことだと感じた。
 - ②販売する製品を実際に使用したうえで提案するという手法は、製品のことをより深く知る上で大切だと感じた。

- ③人手不足がこれからより深刻になっていく中で、やはり人財育成や社員満足度の向上の取り組みを行っていく必要があると感じた。とても勉強になった。

3 若手社員交流事業（再掲）

会員企業の若手社員同士の交流を深め、新たな連携が生まれる土壌を作るための交流事業を行った。交流会は活動周知イベントの『おっとりっしゃ！とよおかのものづくりVI』の開催に併せて行い、イベントの改善点などの意見交換やコミュニケーション能力を高める目的のミニ研修を行った。

- (1) 日 程 8月5日（月）
- (2) 会 場 ポルコロツソ
- (3) 内 容 コミュニケーション能力向上研修、イベント『おっとりっしゃ！』に関する意見交換
- (4) 参加者数 5社12名

VII 特別事業

工業会活動周知イベント『おっとりっしゃ！とよおかのものづくりV』（再掲）

VIII 但馬技術大学校との連携協定

但馬地域の若い技術者の育成と地域への定着およびものづくりにかかる知識・技能の向上を目的として、兵庫県立但馬技術大学校との間で、平成27年4月に締結した連携協定に基づき、以下の事業を行った。

1 インターンシップの取りまとめ

但馬技術大学校 機械工学科の学生のインターンシップについて、会員企業での受け入れについて依頼し、受け入れ希望企業の取りまとめを行った。（会員企業への依頼：10月、インターンシップ実施：2月）

※当会での受け入れ企業の取りまとめについては機械工学科のみ

《インターンシップ実施・受け入れ状況》

機械工学科（1年生） 9名のうち 会員企業6社へ8名
<建築工学科（1年生）15名のうち 会員企業3社へ3名>

2 実技講座『ものづくり実技講習』の開催（再掲）

3 雇用等に関する情報提供

但馬技術大学校の学生に対する求人情報の募集や学科紹介ならびに『兵庫ものづくり支援センター但馬』について、定期総会開催時に会員へ向け周知を行った。（4月）